

**(1)日本革命的共産主義者同盟・関係**

- 日本社会党三多摩支部協議会**……………**山西英一 1953年**  
機関紙「社会党三多摩支部ニュース」第1号～  
『教育資料』NO1～(1953NO2～4未刊)
- 日本社会党(左)有志の会**  
『研究資料』NO6～9
- 日本社会党有志・国際政治研究会**  
『研究資料』NO10  
機関紙「雄叫び」第1号～3号
- 日本社会党青年部有志**……………**太田 竜 1952年**  
機関紙「若い同志」第1号～  
『レーニン主義研究』創刊号～(太田 竜 1956)
- 日本共産党(伊勢崎地区委員会)**……………(国際派)**内田英生・内田高雄 1951年**  
機関紙「建設者」第1号～  
機関紙「先駆者」第1号～
- 群馬政治経済研究会**……………(1956～**内田英生・内田高雄**)  
機関紙「反逆者」第1号～8号
- 日本トロツキスト連盟(第四インターナショナル日本支部準備会)**  
…(内田英生、内田高雄、太田竜、黒田寛一、西 京司、岡谷 進 1957～)  
機関紙「反逆者」第9号～16号  
機関紙「第四インターナショナル」(「反逆者」改題)17号～37号  
「反逆者編集部宣言」(「反逆者」9号～『新左翼理論全史』収録 1979)  
『理論』第1号～29号(理論社 1947～1954)  
『オールドボルシェヴィキ』第1号～12号(イスクラ協会・対馬忠行 1954～1957)  
『先駆者』第1号(『オールドボルシェヴィキ』改題)～〇号(イスクラ協会・対馬忠行)  
『スターリン主義批判』(対馬忠行・弘文社・アテネ文庫 1950)  
『スターリン主義の批判 マルクスの社会主義社会論』(対馬忠行・青山書院 1952)  
『クレムリンの神話—ソ連は社会主義の国に非ず』(対馬忠行・実業之日本社 1956)  
『ソ連「社会主義」の批判』(対馬忠行・論争社 1959)  
『国家資本主義と革命—トロツキズムとその超克』(対馬忠行・現代思潮社 1964)  
『マルクス主義とスターリン主義』(対馬忠行・現代思潮社 1966)  
『トロツキズム』(対馬忠行・風媒社 1967)  
『対馬忠行—反スターリン主義の先駆け』(対馬忠行追悼論文集刊行会編 1983)
- 国際革命文庫**  
『過渡的綱領—資本主義の死の苦悶と第四インターナショナルの任務—』(国際革命文庫 1/1977)  
『国際共産主義運動史』(国際革命文庫 2・山西英一・新時代社 1979)  
『日本共産党批判』(国際革命文庫 3・沢村義雄、織田 進 1974)  
『ベトナム革命と世界革命』(国際革命文庫 4・第四インターナショナル日本支部 1975)  
『革命的戦略の学校』(国際革命文庫 5・トロツキー)  
『第四インターナショナル少史』(国際革命文庫 6・ピエール・フランク/1973)  
『革命的暴力と内部ゲバルト プロレタリア民主主義の創造をめざして』(国際革命文庫 7/1973)  
『来るべき対決』(国際革命文庫 8・ミシェル・パプロ)  
『スターリニズム』(国際革命文庫 9・第四インターナショナル世界大会/1974)  
『トロツキズム入門』(国際革命文庫 10・トロツキー/マンデル/1974)  
『社会党・社青同・協会派批判』(国際革命文庫 11・西山次郎/織田進/槇慎二)  
『アジア革命と極東解放革命』(国際革命文庫 12・酒井与七他)  
『マルクス経済学入門』(国際革命文庫 13・マンデル)  
『三多摩社青同闘争史』(国際革命文庫 14・織田進/1976)  
『日本革命的共産主義者同盟小史』(国際革命文庫 15・党史編纂委員会 1977)

- 『北方領土と共産主義』(国際革命文庫 16・織田進)  
『ハンガリア革命とトロツキズム』(国際革命文庫 17・山西英一)  
『IMF 体制の崩壊と戦後帝国主義の没落』(国際革命文庫 18・藤原次郎/1979)  
『日本経済の危機と転換』(国際革命文庫 19・藤原次郎)  
『なにをいかに学習せよか』(国際革命文庫 20・国際革命文庫編集委員会/1979)  
●**日本革命的共産主義者同盟(JR)**……………(1957~1965)  
機関誌『第四インターナショナル』NO1~(1959~)  
機関紙「世界革命」(「第四インターナショナル」改題)第38号~164号  
機関紙「旬刊インターナショナル・ニュース」(国際部編集)  
●**日本革命的共産主義者同盟立命館大細胞**  
機関紙「コンミュン」  
●**日本革命的共産主義者同盟関東地方委員会**  
機関紙「労働戦線」(1960年~)  
●**日本革命的共産主義者同盟関西ビューロー**…(関西派 1958~1970 西京司、岡谷進・網野市蔵)  
機関紙「プロレタリアート」第1号(1958)  
『日本トロツキズム運動の形成 西京司論文集』(柘植書房 1976)  
●**労働者階級解放闘争同盟**…(61 革共同関西ビューローから分派  
→1963 革共同全国委員会に統合)  
機関誌「赤い旗手」第1号~10号  
機関誌「イスクラ」第1号~10号  
●**国際主義共産青年同盟**…(青年インター派・星宮煥生 1961~革共同関西ビューローの分派)  
機関誌「青年インター」第1号~67号(学生班中央書記局)  
●**国際主義共産青年同盟(青年インター)学生準備会**……………  
機関紙「ボルシェヴィキ」第1号~〇号  
●**日本社会主義学生同盟左翼反対派(レフト)**……………1959年  
機関紙「ボルシェヴィキ」第1号~  
機関紙「インテルナツィオナーレ」第1号~100号(社学同左翼反対派京大支部 1959~1964)  
機関誌「イスクラ」NO1~59?(社学同左翼反対派京都府委員会…)  
●**関東トロツキスト連盟(1958)**……………第一次分裂・太田竜  
●**トロツキスト同志会**……………(1958・太田竜)  
●**国際主義共産党(ICP)**……………(太田竜 1958~1965)  
機関誌『永久革命』第1号~17号(日本資本主義研究会 1958~1960)  
機関紙「労働者の声」第1号~104号・号外(「労働者の声」編集部 1958~1960)  
●**第四インターナショナル日本委員会**……………(1959・太田竜)  
●**第四インターナショナル日本委員会**……………(1960・反太田竜派)  
機関誌『ミリタント』第1号~(第四インターナショナル日本支部学生ビューロー)  
●**日本社会主義青年同盟三多摩支部準備会**……………59年・国際主義共産党(ICP)多数派G  
機関紙「青年の声」第1号~  
●**日本社会主義青年同盟三多摩支部(三多摩社青同)**……………1961年ICP系  
●**国際主義共産党(第四インターナショナル日本委員会)**……………(1960・太田竜)  
●**トロツキスト学生同盟**……………(1963)  
●**第四インターナショナル中央書記局**……………(1966~)  
機関紙「第四インターナショナル」第1号~  
WEB「第四インターナショナル中央書記局」(2009)  
●**スパルタシスト日本グループ**  
機関紙「スパルタシスト」NO1~NO36(~2012)  
●**日本革命的共産主義者同盟(第四インターナショナル日本支部)**  
(委員長一太田竜、酒井与七、織田進・西京司・寺岡術 1965~1966)  
●**関東社会主義研究会**……………(横国大・東学大・中大・東洋大・1966~)  
機関紙「武装」第1号~

- 「**プロレタリア社会主義通信**」編集委員会……………(酒井与七・寺岡 衛 1966年)  
機関紙「プロレタリア社会主義通信」NO1～4
- マルクス・レーニン主義研究会**……………(織田 進 1966年)  
機関紙「レーニン主義」第1号～
- 第四インターナショナル日本支部(ボルシェビキレーニン主義)**…1965—通称・BL派—太田竜  
機関誌『第四インターナショナル』第1号～  
機関紙「世界革命」第165号～200号？(1965～1967)  
『国際革命論争』NO1～NO34(第四インターナショナル日本支部BL派)  
『第四インターナショナル小史』(太田 竜編・第四インターナショナル日本支部BL派)  
『世界革命論』(日本革共同BL派 太田 竜・十月社 1967)  
『世界革命 マルクス主義と現代』(栗原登一・三一新書 1967)  
『日本革命の根本問題』(栗原登一・十月社 1968)  
『革命的労働運動 帝国主義的労働組合の粉碎・打倒のために』(大田竜 1969)  
『私的戦後左翼史 自伝的戦後史(1945～1971)』(太田 竜・話の特集 1985)
- 武装蜂起準備委員会(AIPC)**……………(法政大学、1967～第四インターナショナルBL派系)  
機関誌『プロレタリア軍団』第1号～10号？(武装蜂起準備委員会・ゲバルト社 1968～1970)  
機関紙「赤衛」創刊号～〇号(武装蜂起準備委員会・ゲバルト社 1970)  
機関紙「叛乱軍軍報」NO1～4(武装蜂起準備委員会関西地区委員会 1968)  
『反乱・武装蜂起への進撃 武装蜂起準備委員会・全論文集』(ゲバルト社 1969)  
『東大、日大から全国学生占拠・反乱へ』(武装蜂起準備委員会 1969)
- プロレタリア軍団全国学生評議会**……………(1969)  
機関紙「文京プロレタリア軍団」第1号～(文京プロレタリア軍団…)  
『立命館学園占拠 反乱闘争の総括と展望のために』  
(立命館大学プロレタリア軍団・プロレタリア軍団関西評議会(準))  
『日本帝国主義復活の現段階』(太田 竜・立正大学プロレタリア軍団)
- プロレタリア軍団高校生評議会**……………(1969)
- 暴力革命高校生戦線**  
機関誌『高校学園階級闘争』NO1～NO〇(プロレタリア軍団高校生評議会結成準備会 1970)
- 現代革命論研究会**……………1977年～1979年・太田 竜  
『現代革命論研究会月報』第1号～20号
- 日本革命的共産主義者同盟(第四インターナショナル日本支部)・再建 1968～1990)**  
**三者協議会 = プロレタリア社会主義通信編集委員会 + マルクス・レーニン主義研究会 + 関東社会主義研究会**  
機関紙「コミニスト」第1号～〇号(社会経済研究会 1965～)  
機関紙「世界革命」復刊1号(通巻165号)～1440号  
(日本革共同関東臨時ビューロー・日本革共同 1968・5～1996)  
機関紙「プロレタリアート」第1号～35号(日本革共同(第四インター日本支部)関西地方委員会 1969)  
『「世界革命」縮刷版』第1号～6号(新時代社 1956～1978)  
機関誌『第四インターナショナル』第1号～7号  
(日本革共同関東同盟員総会・前衛出版社 1967～1968)  
機関誌『第四インターナショナル』第8号～〇号(日本革命的共産主義者同盟…1970)  
機関誌『沖縄闘争と極東解放革命』NO1～NO2(日本革共同)  
機関誌『剣を磨け』NO1～3(インター三里塚現闘団 1972)  
『国際革命評論』第1号～7号(国際革命評論編集委員会・国際通信社・新時代社 1969～)  
『月刊インターナショナルニュース』第1号～〇号(日本革共同国際部・太田 竜…)  
『討論ブルテイン』第1号～
- 日本革命的共産主義者同盟(第四インターナショナル)指導委員会**…？  
機関誌『トロツキズム』創刊号・2号(1970・1972)
- 社会主義婦人会議**……………(1978年～1995年)  
機関誌『婦人通信 社会主義をめざす婦人運動を創りあげよう！』第1号～267号(1971～1995)
- 兵士と労働者編集委員会**

機関誌『兵士と労働者』第1号～61号(1971～1988)

●三里塚闘争と戸村一作氏に連帯する会……………1974年・代表一上坂貴美

機関誌『むしろ旗』第1号～4号・号外(1974)

機関紙「三里塚闘争ニュース」第1号～

●アジア青年会議

『闘うアジア』第1号～6号

『インドシナの勝利を全アジアへ 第2回アジア青年集会』(アジア青年会議 1975)

『解放四年後のベトナム アジア青年会議ベトナム友好訪中団の報告』

●第四インター・女性解放グループ……………1987年

……………

『沖縄闘争と極東解放革命 沖縄闘争関係政治論文集』(新時代社 1969)

『統一朝鮮革命と入管闘争』(日本革共同・新時代社 1970)

『叛軍闘争』(日本革共同・新時代社 1970)

『反帝・社会主義をめざす労働者・農民の政府を樹立せよ』  
(日本革命的共産主義者同盟政治局 1970)

『第四インターナショナルは主張する 三里塚闘争とわれわれの革命的政策』(新時代社 1978)

『第四インターナショナルは主張する 全電通官僚を包囲打倒せよ』(新時代社・)

『今、なぜベトナムか 米・日・中共存—帝国主義のアジア新戦略を打ち破る革命の拠点』  
(新時代社 1979)

『管制塔に赤旗が翻った日』(三里塚を闘う全国青年学生共闘編・柘植書房 1979)

『夢を追ったリアリスト 今野 求追悼文書』(今野求追悼文集編集委員会・2002)

WEB「酒井与一論文集」(2008～)

●日本社会主義青年同盟全国学生評議会国際主義派…(1967～一通称・社青同国際主義派)

機関紙「ボルシェビキ」第1号～(日本社青同国際主義派関東地方ビューロー1965)

●国際主義共産学生同盟(学生インター)……………(1967～)

機関誌『永続革命』1号・2号(1969)

機関紙「武装」第1号～(国際主義学生同盟(学生インター))

機関紙「ルージュ」NO1～2(国際主義共産学生同盟(学生インター)関西地方委員会)

機関紙「プロレタリア戦士」NO1～35(国際主義共産学生同盟京都大学支部)

機関紙「装甲列車」第1号～(国際主義共産学生同盟(学生インター)東北大・片平支部)

●全国国際主義高校生委員会

●国際主義高校戦線(FIH)

機関誌『槌と鎌』創刊号～(1970)

機関紙「叛逆」第1号～(全大阪国際主義高校生戦線書記局 1969～)

●日本社会主義青年同盟宮城県地方本部……………(今野 求 1967)

●宮城県反戦青年委員会……………(今野 求 1968)

●国際主義労働者委員会(ILC)……………(反戦青年委員会)

『ゼネ石油闘争の総括と反帝労働運動の構築へ！急進的青年運動の企業反乱の到達点』  
(国際主義労働者委員会・神奈川反帝労働者こうどう委員会 1970)

『春闘パンフ 反帝国主義極東の世界へ跳躍せよ！』(国際主義労働者委員会 1972)

『反帝社会主義の旗のもと 74年の総決起へ』(国際主義労働者委員会 1974)

●三里塚・反安保を闘う全国青年学生共闘……………

『三里塚77、4～5 弾圧との闘い』(三里塚を闘う全国青年共闘・空港粉碎全国学生共闘・新時代社 1977)

『管制塔に赤旗が翻った日 1978-3-26 三里塚』(三里塚を闘う全国青年学生共闘・柘植書房新社 1979)

●レーニン主義派(L派)

●プロレタリア派(P派)

●プロレタリア民主主義派(PD派)

●日本革命的共産主義者同盟(JRCL)……………(酒井与七、平井純一、高島義一 1991～)

機関誌『第四インターナショナル』0号～56号(新時代社)

機関紙「かけはし」第1441号(「世界革命」改題)～2089号(新時代社 1996～)

機関紙「かけはし」第2090号～2392号(日本革共同+国際主義労働者全国協議会・共同編集—新時代社 2009)  
『トロツキー研究』1号～48号(トロツキー研究所・つげ書房新社 1991～2007)  
『右島一朗著作集 社会主義再生への途上で』(高島義一(右島一朗)・つげ書房新社 2005)  
『社会主義へ、いま 第四インターナショナル第14回世界大会報告集』(新時代社・・・)  
『社会主義へ、新しい挑戦 第四インターナショナル第15回世界大会報告決定集』(新時代社 2004)

●**日本共産青年同盟(JCY).....(1975年)**  
**国際主義共産学生同盟+国際主義労働者委員会+国際主義高校戦線**

機関誌『JCY通信』第1号～〇号(日本共産青年同盟中央執行委員会 1979・・・)  
機関誌『進撃』創刊号～〇号(日本共産青年同盟学生班協議会・・・)  
機関誌『障害者解放闘争』創刊号～〇号(日本共産青年同盟 1976・・・)  
機関紙『青年の旗』第1号～(日本共産青年同盟沖縄県委員会)  
機関紙『青年労働者』第1号～(日本共産青年同盟沖縄県委員会)  
機関紙『学生班通信』第1号～(日本共産青年同盟全国学生班協議会全国書記局・・・)  
機関誌『岩』第1号～3号(日本共産青年同盟関東自治体班協議会 1975・1976・1979)  
機関誌『闘魂』第1号～4号(日本共産青年同盟全国全通班協議会・・・)  
機関誌『六次合粉砕・官僚統制を打破し、階級的労働運動を築け!』NO1～  
(日本共産青年同盟全国電通班協議会 1977)  
『闘いの岩—全金港ブロックを全国拠点に 中小企業労働運動の勝利をめざして』  
(日本共産青年同盟大阪府委員会 1976)

機関誌『青年戦線』第1号～〇号(日本共産青年同盟 1975～)  
機関誌『THE YOUT FRONT(青年戦線)』〇号(「青年戦線」改題)～189号  
『宣伝戦線』(日本共産青年同盟宣伝戦線編集委員会 1977)

●**アジア連帯講座**

WEB「虹とモンスーン」

●**全国労働組合連絡協議会(全労協).....1989年**

機関紙「全労協」第1号～

●**政治グループ稲妻.....(村岡 到 1980～1996)**

機関紙「稲妻」第1号～219号(稲妻社 1980～)  
機関誌『現代と展望』NO1～(1981～)  
機関誌『稲妻』第220号～278号(1993～)  
『スターリン主義批判の現段階』(村岡到・稲妻社 1980)  
『連帯社会主義の政治理論 マルクス主義を超えて』(村岡到・五月書房 2001)

●**稲妻の会**

機関誌『稲妻』第279～331号

●**ロゴス社.....(村岡到 1995～)**

機関誌『稲妻』第332号～363号(～2007)  
『カオスとロゴス』第1号～〇号(ロゴス社 1994～)  
『もうひとつの世界へ』NO1～18(ロゴス社 1995～)  
『Plan— B』NO19(『もうひとつの世界へ』改題)～43(ロゴス社 2009～)  
『季刊フラタニティー Fraternity』NO1～(2016～)

『マルクス主義の解縛』(千石好郎・ロゴス社 2009)  
『閉塞時代に挑む』(村岡到・ロゴス社 2008)  
『社会主義はなぜ大切か—マルクスを超える展望』(村岡到・社会評論社 2015)

●**第四インターナショナル日本支部再建準備委員会.....(MELT・寺岡 衛、江藤正彦 1987～)**

●**政治グループ・MELT.....(2011～)**

機関誌『労働者の旗』創刊準備1号～準備7号(1988～)  
機関紙(月刊ニュースレター)「インターナショナル」第1号～221号  
『戦後左翼はなぜ解体したのか』(寺岡 衛、江藤正彦・同時代社 2006)  
『資料 戦後左翼はなぜ解体したのか』(江藤正彦編・同時代社 2006)  
『第四インター日本支部はなぜ破綻したのか』(寺岡 衛、江藤正彦・WEB2006)

『20世紀社会主義の挫折とアメリカ資本主義の終焉』(寺岡 衛・柘植書房新社 2010)

●**第四インターナショナル日本支部全国協議会**……………**1989年**

●**国際主義労働者全国協議会**……………(織田 達 **1991**～)

機関紙「労働者の力」創刊準備号・第1号～258号終刊(労働者の力社 1988～2009)

●**日本革命的共産主義者同盟関東ビューロー**

機関誌『共産主義者』第1号～3号(日本反スターリン主義運動研究会 1959)

機関紙「労働者」第1号

機関紙「解放」第1号～(日本革共同第四インターナショナル早稲田大学細胞 1959)

『約束』(平田豪成・論創社 2021)

\*\*\*\*\*

●**革命的共産主義者同盟全国委員会**・(中核派・本多延喜、山村 克、清水大夫、中野 洋 **1959**～)

機関誌(季刊)『共産主義者』第4号～199号(革共同全国委員会・前進社 1959～)

機関誌『(月刊)武装』第1号～221号(前進社 1974～)

機関誌『(月刊)コンミュン』第222号～390号(「武装」改題・前進社～2009)

機関誌『(月刊)国際労働運動』第391号(「コンミュン」改題)～468号(国際労働運動研究会)  
・前進社 2009～出版最前線)

機関誌『(月刊)国際労働運動』VOL1(国際労働運動研究会・出版最前線 2015)

機関紙(週間)「前進」第1号～2703号(前進社 1959～)

『前進縮刷版』第1巻～21巻(1959～1985・14巻～17巻未刊 1974～1981・前進社)

『「前進」デジタル縮刷版 第1巻 1959～1963』(前進社 2007)

『「前進」デジタル縮刷版 第2巻 1961～1971』(前進社 2018)

機関紙「革共同通信」第1号～44号(革共同全国委員会 1974)

機関紙「コンミュン」第1号～〇号(革共同全国委員会関西地方委員会 1963～)

●**マルクス主義学生同盟**……………**1963年(1960年)**

機関誌『中核』第1号～71号(マルクス主義学生同盟・前進社 1963～)

機関誌『中核』(別冊)マルクス主義学生同盟 1969・5)

機関誌『中核』復刊1号～4号(マルクス主義学生同盟・前進社 新書版 2017～)

機関誌『叛逆』創刊号～(マル学同関西地方委員会 1964)

機関紙「ヴィボルグ」第1号～6号(マル学同中核派関西地方委員会)

機関紙「変革のパス」第1号～(マルクス主義学生同盟京大支部)

機関紙「武装蜂起」第1号～253号?(マルクス主義学生同盟中核派京大支部)

機関紙「死闘」第1号～(マルクス主義学生同盟中核派東北大支部・)

機関紙「奔流」第1号～(マルクス主義学生同盟中核派横国大学支部)

機関紙「蜂起」NO1～(明大本部地区反戦会議)

『アジア侵略と入管法』(マルクス主義学生同盟中核派・前進社 1970)

『レーニン主義的前衛党を建設せよ!』(マルクス主義学生同盟中核派 1970)

●**マルクス主義高校生同盟**

●**戦争と植民地主義に反対し、生活と権利を守る高校生協議会(反戦高協)**

機関誌『反戦高協』NO1～NO16(反戦高協・前進社)

機関紙「腕 KAINA」第1号～〇号(反戦高協・)

機関紙「ラ・レポルト」第1号～〇号(反戦高協大阪府委員会 1968～)

機関誌『東雲』NO1～10(反戦高協長野県委員会～1966)

『高校と世界』(岸本健一・反戦高協書記局 1966)

●**マルクス主義青年労働者同盟**……………**1961年(2003年再結成)**

機関誌『最前線』第1号～88号(マルクス主義青年労働者同盟・前進社 1961～1972)

機関誌『Solidarity』第1号～9号(マルクス主義青年労働者同盟 2003～)

『最前線 ダイジェスト復刻版85—88号』(前進社 2010)

機関誌『橋頭保』第1号～〇号(マル青労同・国鉄委員会・前進社・)

機関誌『教育労働者』第7号～19号(マル青労同・教育労働者委員会・前進社 1967～)

- 機関誌『ザイル』第1号～〇号(マル青労同・全通委員会・)
- 機関誌『戦列』(マル青同・全電通委員会)
- 機関誌『弾機』(マル青同・都労連委員会)
- 機関誌『ダイナモ』(マル青同・電機労連委員会)
- 機関誌『婦人解放』第1号～5号(マル青労同・婦人解放編集委員会～1967)
- 機関誌『鉄鎖を砕け』第1号～(マル青同化学委員会)
- 機関誌『組織者』(マル青同・関西電機委員会)
- 機関誌『先駆者』(マル青同・関西教労委員会)
- 機関誌『くれない』(国鉄大阪マルクス主義研究会)
- 機関誌『火花』第1号～5号(関西労働運動研究会連合 1964～)
- 『闘う三里塚』第1集～3集(千葉県反戦青年委員会現闘本部 1970)
- 『現代と教育 革命的左翼の闘い』(マル青同教育労働者委員会編・前進社 1966)
- 小西事務所**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・**1970年**
- 『叛軍闘争』第1号～9号(小西事務所)
- 青年アジア研究会**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・**1971年**
- 『日本・朝鮮・中国』第1号～14号(青年アジア研究会 1971～1989)
- 破防法研究会**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・**1969年**
- 『破防法研究』第1号～73号(破防法研究会・文彩社 1969～1992)
- 『序局』第1号～20号(破防法研究会・出版最前線)
- 全日本学生自治会総連合(全学連)・・・・61年第一七四大会・委員長一北小路 敏**
- 全日本学生自治会総連合(三派全学連)・・・・66年再建大会・委員長一(斎藤克彦)**
- 全日本学生自治会総連合(全学連)・・・・68年全学連大会・委員長一秋山勝行**
- 全日本学生自治会総連合第七六四定期大会・2015・委員長一斎藤郁真**
- 機関誌『闘う全学連』第3号～7号
- 機関誌『学生戦線』第1号・2号(61年)・・・・3号・以降革共同革マル派
- 機関紙『突撃 全学連通信』第1号～6号(突撃編集委員会)
- 機関紙『全学連(斎藤郁真委員長)書記局通信』NO1～NO332
- WEB『全学連』
- 『佐世保を第三の羽田に』(全学連主流派)
- 『Zengakuren Strugglu Of Japanese Students Summer 1967』(前進社 1967)
- 『全学連は何を考えるか』(秋山勝行・青木忠・自由国民社 1969)
- 『全学連死闘の二年九ヶ月』(金山克己・前進社 1972)
- 『闘う砂川』第1号～8号(全学連反戦砂川現闘本部～1972)
- 全学連三里塚現地闘争本部**
- 日刊『三里塚』第1号～4844号
- 週刊『三里塚』第1号～ (週刊『三里塚』編集委員会・全学連三里塚現地闘争本部・)
- 『闘いは大地とともに 三里塚一九六七―一九七一』(全学連三里塚現闘本部 1971)
- 自衛隊の海外派兵に反対し、二度と侵略戦争を許さない共同行動委員会**  
(反戦共同行動委員会・中野洋・小西誠・佐藤芳夫)・・・・**1992年**
- 全国労働組合交流センター**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・**1989年**
- 機関誌『月刊労働運動』第1号～0307号
- 市ヶ谷兵士委員会(自衛隊市ヶ谷駐屯地)**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・**1971年**
- 機関紙『不屈の旗』第1号～
- 市ヶ谷振軍行動委員会**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・**1972年**
- 機関誌『兵士とともに』第1号～
- 労働者・兵士ともに起ちあがろう 労働者兵士行動委員会**・・・・・・・・・・・・(2009)
- 会報『Rise』第1号～40号(2009～2015)
- 国鉄千葉動力車労働組合(動労千葉)**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・**1979年**
- 機関紙『日刊 動労千葉』創刊号～8004号(1979～)
- 機関紙『DC通信』NO1～210(2003～)

●**全国部落解放研究会連合**

機関紙「闘う部落研」第1号～13号

●**全国部落青年戦闘同志会**

機関誌『荊冠』第1・2号合併号～〇号(部落解放研究会・部落青年戦闘同志会・荊冠社～1976)

●**全国水平同盟**.....**2013年・全国連から分派**

機関紙「全国水平同盟」第1号～13号

●**全国被爆者青年同盟**.....**1970年**

機関誌『白い花』NO1～

『君は明日生きるか』(全国被爆者青年同盟・破防法出版会 1972)

●**関西「障害者」解放委員会**.....**1972年分裂**

機関誌『障害者解放』第〇号～

●**「闘う障解委」編集委員会**

機関誌『闘う障解委』第1号～(1973)

●**ロシア革命研究会**.....**1998年**

『ロシア革命研究』第1号・2号

●**障害者解放編集委員会**

機関誌『障害者解放』第1号～5号

●**婦人民主クラブ全国協議会**.....**84年・婦人民主クラブから分派・代表一西村綾子**

機関紙「婦人民主クラブ」第1号～604号

●**沖縄闘争委員会**.....**1967年**

●**沖縄青年委員会**.....**1970年**

『戦犯 天皇ヒロヒト決死糾弾 九・二五皇居突入闘争決死隊糾弾状』(沖縄青年委員会 1972)

『沖縄青年委員会 五・一五体制粉碎・沖縄奪還』(山城幸松編・新何陽社 1972)

●**人民革命軍武装遊撃隊**

機関誌『雲と火の柱』第1号(1973)～〇号

.....  
『安保闘争 その政治総括』(武井健人・現代思潮社 1960)

『批判と展望』第1号～4号(大学評論社 1961～1963)

『議会と現代革命1』(労働者文庫NO2・前進社 1963)

『フランス帝国主義の中国承認と労働者階級』(労働者文庫・)

『四・一七ストと日本共産党』(労働者文庫・)

『これからの労働運動』(労働者文庫・)

『生活はなぜ苦しいか 搾取と収奪のカラクリ』(労働者文庫NO7・浜野哲夫編・前進社)

『侵略と戦争と反動の日韓条約』(労働者文庫・)

『ハンガリア革命の記録』(『共産主義者』別冊・日本革共同盟全国委員会政治局・前進社 1966)

『一九六七年一〇月八日 山崎博昭追悼論集 羽田の闘い』(前進社 1968)

『山崎博昭追悼文集』(十月会 1968)

『大学闘争 大学を安保粉碎・日帝打倒の砦に』(前進社出版部・前進社 1969)

『沖縄奪還』(前進社出版部・前進社 1969)

『勝利にむかっの試練 安保問題革共同重要論文集』(本多延嘉編・前進社 1969)

『日本型社会民主主義』(岸本健一・現代思潮社 1966)

『反戦派労働運動』(陶山健一・亜紀書房 1969)

『帝国主義と対決する労働運動を』(陶山健一・前進社 1969)

『歴史選択としての七〇年闘争』(北小路敏・自由国民社 1969)

『七〇年安保決戦 1969年10・11月→1970年6月』(前進社 1970)

『ソビエト社会の変質とスターリン主義』(山村 克・慶応義塾新聞会 1970)

『反軍闘争の推進のために』(前進社 1970)

『日本共産党 神格化された前衛』(田川和夫・現代思潮社 1960)

『戦後日本革命運動史 I』(田川和夫・現代思潮社 1970)

- 『戦後日本革命運動史(2)』(田川和夫・現代思潮社 1971)
- 『日本革命運動史 戦前編1』(田川和夫・青年社 1970)
- 『疾走する青春 ある学生革命家の愛と死』(津本忠雄追悼集編集委員会・合同出版 1970)
- 『その空間で僕は沈黙する—津本忠雄遺稿集』(編集委員会 1970)
- 『内乱と武装の論理』(津久井良策・前進社 1971)
- 『革共同の内戦論』(野島三郎・前進社 1975)
- 『現代革命と内戦』(野島三郎・前進社 1977)
- 『ねつ造された水本事件 これがカクマルの正体だ!』(奥村陽一・矢島治雄・前進社 1978)
- 『三里塚二期決戦—蜂起する革命的左翼と農民』(柴田浩行・前進社 1982)
- 『現代帝国主義論』(島崎光晴・前進社 1984)
- 『現代帝国主義論Ⅱ』(島崎光晴・前進社 2005)
- 『「資本論」の研究』(上・下)〈仲山良介・前進社 1988・1989〉
- 『スターリン主義と農業の強制集団化』(…)
- 『ロシア革命とレーニン主義』(…)
- 『本多延嘉著作集』全七巻(前進社…)
- 『清水丈夫選集』全十巻(6・7・8巻未完・前進社…)
- 『白井問題とは何か—権力への屈服と革共同破壊の悪あがき』(前進社 2000)
- 『第六回全国大会報告・決定集』(上・下)(前進社 2001)
- 『反戦派労働運動(上)陶山健一重要著作集1』(前進社 2007)
- 『反戦派労働運動(下)陶山健一重要著作集2』(前進社 2008)
- 『革共同 綱領草案』(前進社 2010)
- 『革命的共産主義運動の50年 現代革命への挑戦』(上・下)(革共同50年史編集委員会・2014)
- 『共産主義者(革共同第7回全国大会報告決定集)』183号(前進社 2015)
- 「勝利に向かったの試練」編集委員会…(瀬戸内高志 1980~1985)—通称・革共同(試練派)
- 機関誌『勝利に向かったの試練』第1号~41号(革共同分派機関誌 1980~1985→)
- 『わが同盟の危機をいかに克服すべきか 革共同への公開意見書』(瀬戸内高志・宮崎杏子 1980)
- 『新たな時代の創出』〈瀬戸内高志・「勝利に向かったの試練」編集委員会 1984〉
- 『単婚と家族』(宮崎杏子)
- 第四インタナショナル・ボルシェヴィキ派(準備委員会)……………瀬戸内高志・1986…
- 機関誌『ボルシェヴィキ』第1号~8号(1986~1987)
- 社会主義歴史研究所……………(白井 朗)
- 『仲山「資本論の研究」批判』(白井 朗 1999)
- 『自称十九全総批判』(白井 朗 1999)
- 『スターリン主義に転落した中核派』(白井 朗 1999)
- 『二〇世紀の民族と革命』(白井 朗・社会評論社 1999)
- 『中核派民主派宣言』(白井 朗・社会評論社 2000)
- 『マルクス主義と民族理論 社会主義の挫折と再生』(白井 朗・社会評論社 2009)
- 社会評論社……………(小西 誠)
- 『反戦自衛官 権力をゆるがす青年空曹の造反』(小西 誠・合同出版 1970)
- 『自衛隊の兵士運動 反戦兵士の闘い』(小西 誠・三一新書 1978)
- 『新左翼運動 その再生への道』(小西 誠・社会評論社 2000)
- 『中核派VS反戦自衛官 中核派議長・清水丈夫の徹底批判』(小西 誠・社会評論社 2002)
- PDF『反軍・反戦自衛官運動機関記録集』(「反軍通信」編集委員会 2015)
- 離光者—関係
- 『日本プロレタリア革命に向けて指導部のプテブル急進主義を弾劾する! 10・8以降の基本路線の対立』  
(マル青同・教育労働者委大阪支部・竹中明夫意見書(小川 登)1968)
- 『労働経済論の基本問題』(小川 登・ミネルヴァ書房 1973)
- 『労働組合の思想』(小川 登・日本評論社 1984)
- 『二九年恐慌と帝国主義—民族・植民地問題の現代的意義』(北川 登…1973)
- 同人誌『遠くまで行くだ』1号~6号(『遠くまで行くだ』編集委員会 1968~1970)

- 個人誌『劫(カルパ)』創刊号～8号(小野田襄二 1975～1982)  
『日本革命の思想的拠点とは何か 革命的左翼十年の歴史に破産』(小野田襄二・1970)  
『革命的左翼という擬制』(小野田襄二・白順社 2003)  
『左翼過激派の20年 その文学的考察』(今井公雄WEB2006)  
『約束』(平田豪成・論創社 2021)  
●WEB 狂おしく悩ましく  
『狂おしく悩ましく「前進」編集委員の事件簿』(黒田・白土・刈谷—白土Kamui2011)  
\*\*\*\*\*  
●革命的共産主義者同盟関西地方委員会  
●革命的共産主義者同盟再建協議会……………(塩川三十二、椿 邦彦 2008～)  
機関誌『展望』創刊号～32号(革共同関西地方委員会・革共同再建協議会 2008～)  
機関紙「革共同通信」創刊準備号～25号(革共同関西地方委員会・関西前進社 2006)  
機関紙「未来」26号(「革共同通信」改題)～〇号(革共同再建協議会・関西前進社 2009～)  
『革共同関西党員総会報告・決定集』(革共同関西地方委員会・関西前進社 2007)  
『革共同の再生のために 松本意見書』(2007)  
『雲と火の柱—地下生活者の手記』(高井戸政行・上方文化研究所 2008)  
『パリ・コンミュンとプロレタリア独裁』(橋本利昭 2007)  
『現代革命とアントニオ・グラムシ革命論』(大伴一人・グラムシ研究会 2016)  
●未来編集委員会……………(2020～革共同再建協議会の分派 (深田京二))  
機関紙「未来」第308号～316号  
●未来への協働編集委員会……………  
機関紙「未来への協働」第317号～401号(「未来」改称)  
「未来への協働 ニュースレター」NO1(2025～)  
●革命的共産主義者同盟東北地方委員会  
『REVO 革命』創刊号(2024)・2号(2025)  
●岸 俊一・水谷保孝……………  
WEB「現代革命論争資料蒐集」(2007～)  
WEB「《試練》—現在《試練》—現代史研究のために」史研究のために」(2012～)  
『革共同政治局の敗北1975—2014 あるいは中核派の崩壊』(白順社 2015)  
●革命的共産主義者同盟全国委員会(平田派・宇谷安雄)  
WEB「議論」・・(反戦共同行動・福岡 2007～)  
●共産主義者団  
機関誌「炎」第1号～  
WEB「共産主義者団」  
『個に死して 類に生きる 宇谷安雄遺稿集』(「炎」編集委員会 2014)  
●部落解放同盟全国連合会……………(1992～)  
機関誌『部落解放闘争』NO1～NO43  
機関紙「部落解放新聞」第1号～〇号  
●荒川碩哉……………  
『スパイ捏造と財産略奪策動を弾劾する』(荒川碩哉 2014)  
●尾形史人……………  
『「革共同五〇年」私史』(社会評論社 2016)  
●高田武……………  
『地下潜行/高田裕子のバラード』(社会評論社 2018)  
●岩本慎一郎……………  
『党はどこへ行くのか 私と革共同』(社会評論社 2024)  
\*\*\*\*\*  
●日本革命的共産主義者同盟革命的マルクス主義派(黒田寛一、塩川 寛、柴 茂、土門 肇1963～)  
機関誌『共産主義者』7号～179号(日本革共同革マル派 1963～1999)  
機関誌『新世紀』第180号(『共産主義者』改題)～292号(解放社 1999～)

機関紙(週間)「解放」第1号～2392号(解放社 1963～2007)

機関誌『ファッセル』第1号～3号(革共同革マル派関西地方委員会 1969～1974)

機関誌『ケルン』第1号～78号(革共同革マル派国鉄委員会・解放社～0989)

機関誌『イスクラ』第1号～4号(革共同革マル派全通委員会・解放社 1970～1977)

機関誌『教育労働者』第1号～9号(革共同革マル派教育労働者委員会・解放社 1963～1973)

機関誌『革命戦線』第1号～26号(革共同革マル派沖縄県委員会)

機関誌『戦列』NO1～10(全北大阪反戦闘争委員会・)

機関誌『進撃』第1号～〇号(革共同革マル派交通運輸労働者委員会・)

『人民党＝日共による琉大襲撃・町田君虐殺の真相』(琉大襲撃・町田君虐殺真相糾明委員会 1971)

『権力の謀略を暴く 権力の走狗に転落したウジ虫＝中核派を一掃せよ!』(解放社 1974)

『現代の謀略』(日本革共同革命的マルクス主義派)

『殺人狂中核』(日本革共同革命的マルクス主義派)

『「対カマル戦争」体験記 元中核派同盟員の手記』(日本革共同革命的マルクス主義派)

『5・14謀略襲撃の真相を暴く』(全学連・国学院大学 I 部自治会合同調査団)

『解放派の軍事拠点から摘発された謀略の証拠』(権力の謀略を告発する会 1980)

『全国民に水本事件を訴える』第1集～7集(水本事件の真相を究明する会～1980)

『水本事件 現代の謀略を追う』(宇治芳雄・龍溪書舎 1978)

『神戸小学生惨殺事件の真相』第1集～8集(神戸事件の真相を究明する会 1997～1999)

●日本マルクス主義学生同盟革命的マルクス主義派……………63年(60年)

機関誌『スパルタクス』第1号～112号(マルクス主義学生同盟革命的マルクス主義派 1960～)

機関誌『ザリヤー』第1号～11号(日本マル学同革マル派東海地方委員会・～0978)

機関誌『レポルーチャ』VOL1～(日本マル学同革マル派北海道地区委員会 1969)

機関誌『ロドストウ』第1号～(日本マル学同革マル派関西地方委員会)

機関誌『マルクス主義者』NO1～17(日本マル学同革マル派早稲田大学支部・)

機関誌『クラトゥーラ』第1号～3号?(日本マル学同革マル派早大支部サークル班)

機関紙「雷鳴」第1号～3号?(マルクス主義学生同盟革マル派京都大学支部)

機関紙「鉄鎖を絶て」NO1～14(マル学同革マル派市大支部)

●反戦高校生連絡会議(反戦高連)

機関誌『高校生戦線』NO1～NO3(反戦高校生連絡会議全国共闘委員会・解放社 1969～70)

●関西部落解放研究会……………74年

機関誌『解放の旗』創刊号～(1974)

●全日本学生自治会総連合(全学連)……………61年第一七回大会

●全日本学生自治会総連合(全学連)……………65年第二二回大会・委員長一根本 仁

●全日本学生自治会総連合第八三四定期大会……………2009・委員長一酒井悠一郎

機関誌『学生戦線』第2号～10号(全学連中央執行委員会情宣部・解放社 1962～1988)

機関誌『闘う全学連』第3号～21号(全学連中央執行委員会情宣部・解放社 1961～1999)

機関紙「全学連通信」NO1～NO44

機関誌『戦列』第1号～(全北大反戦闘争委員会)

『逆流に抗して 沖縄学生運動史 その苦悶と前進』(山里 章・沖縄問題研究会 1967)

『革命的暴力とは何か?』(全学連中央執行委員会情宣部・こぶし書房 1971)

WEB「全学連(酒井悠一郎委員長)」

●全学連特別行動隊(JAC)……………

『探求』創刊号～8号・別冊(弁証法研究会 1957～1960)

『逆流に抗して 革命的共産主義者の闘い』(前進社・こぶし書房 1960)

『反議会主義をめぐって』(黒田寛一・マルクス主義研究会 1962?)

『議会主義との決別』(黒田寛一後援会<反議会戦線>1962)

機関誌『反議会戦線』創刊号～5号(高知 聡編・反議会戦線編集委員会 1962～1965)

「政治局内多数派による革命的マルクス主義の歪曲に抗して断固たる分派闘争を展開せよ」(1963)

『革命的共産主義運動 その理論と歴史』(革共同革マル派・あかね図書販売 2001)

『はばたけわが革命的左翼 革マル派結成四〇周年記念論集』(上・下)(あかね図書販売 2003)

- 『ヘーゲルとマルクス 技術論と史的唯物論序説』(黒田寛一・理論社 1952)  
『経済学と弁証法』(黒田寛一・人生社 1956)  
『社会観の探求 マルクス主義哲学の基礎』(黒田寛一・理論社 1956)  
『スターリン主義批判の基礎—<スターリン批判>の批判』(黒田寛一・人生社 1956)  
『現代における平和と革命』(黒田寛一・現代思潮社 1959)  
『何を、どう読むべきか?』(黒田寛一・こぶし書房 1959)  
『プロレタリア的人間の論理』(黒田寛一・こぶし書房 1960)  
『組織論序説』(黒田寛一・前進社・こぶし書房 1961)  
『マルクス主義の形成の論理』(黒田寛一・こぶし書房 1961)  
『宇野経済学批判』(黒田寛一・現代思潮社 1962)  
『ヒューマンイズムとマルクス主義』(黒田寛一・こぶし書房 1967)  
『資本論以後百年』(黒田寛一・こぶし書房 1967)  
『現代唯物論の探求』(黒田寛一・こぶし書房 1968)  
『日本の反スターリン主義運動』(1・2)(黒田寛一・解放社 1968・1969)  
『革命的マルクス主義とは何か?』(黒田寛一・こぶし書房 1969)  
『スターリン批判以後』(上・下)(黒田寛一・現代思潮社 1969)  
『現代中国の神話』(黒田寛一・こぶし書房 1970)  
『毛沢東神話の破壊』(黒田寛一・こぶし書房 1970)  
『組織現実論の開拓』全五巻(黒田寛一・あかね図書販売～2012)  
『日共イデオロギー批判』(朝倉文夫、土門 肇・こぶし書房 1969)  
『スターリン革命戦略論批判』(宮田剣一・解放社 1970)  
『唯物史観と変革の論理』(影山光夫・こぶし書房 1971)  
『唯物史観と経済学』(影山光夫・こぶし書房 1973)  
『周恩来の中国』(半沢 貫・こぶし書房 1976)  
『現代帝国主義の腐朽』(波多野玄、芦村 毅・こぶし書房 1977)  
『革命の放棄』(森山伸夫、武田徹夫・こぶし書房 1977)  
『現代日本労働運動論』(上・下)(藤原隆義・こぶし書房・・・)  
『革命的左翼の思想』(藤原隆義・こぶし書房・・・)  
『藤原隆義＝杜学論集』(1・2・3)(こぶし書房 1978～1979)  
『梯明秀との対決』(村上文男・こぶし書房 1979)  
『中ソ代理戦争』(酒田誠一・こぶし書房 1980)  
『宇野経済学との対決』(松代秀樹、片桐 悠・こぶし書房 1980)  
『ドル危機』(吉本龍司、柳津 弘・こぶし書房 1980)  
『石油危機下の日本経済』(松代秀樹・こぶし書房 1981)  
『革命なき革命の悲劇』(酒田誠一・こぶし書房 1982)  
『減量経営とは何か』(黒金哲男・前尾進吾・こぶし書房 1982)  
『自主管理革命の幻想』(片桐 悠・こぶし書房 1982)  
『現代日本のナショナリズム』(葉室真郷、柳津 弘・こぶし書房 1983)  
『反戦・平和の闘い マルクス主義への道』(朝倉文夫・あかね図書販売 2000)  
『党組織建設論の確立』(黒田寛一・あかね図書販売 2012)  
『革マル派五十年の軌跡』(全10巻)(あかね図書販売 2014～)  
『黒田寛一著作集』(全40巻)(KK 書房 2019～)
- 日本国有鉄道機関車労働組合(機勞).....50年・国勞から分裂  
●国鉄動力車労働組合(動勞).....59年・機勞の改称  
機関誌『動く力』第1号～190号(～1982)  
機関紙『動力車新聞』第1号～1648号終刊(1946～1987)  
機関誌『実践と理論』第1号～40号(国鉄動力車労働組合東京地方本部 1970～1982)  
機関誌『若き動力車』第1号～(動力車労働組合東京地方本部青年部)
- 東日本旅客鉄道労働組合(JR東日本).....87年委員長一吉川英一  
●全日本鉄道労働組合総連合(JR総連).....倉川 篤＝松崎 明 1986～)

広報誌『JR総連』第1号～〇号

機関誌『われらのインター』第1号～15号(国際労働総研～)

『国鉄動力車～順法闘争と労働運動』(松崎 明、谷 恭介・三一書房 1972)

『鬼が撃つ—もう一人のJR牽引者として』(松崎 明・TBSブリタニカ 1992)

『国鉄改革—正々堂々と我が道を行く(上・下)』(松崎 明・ぴいぷる社 1998)

『松崎 明 秘録』(松崎 明/宮崎 学・同時代社 2008)

『松崎 明著作集』(全8巻)(「松崎明著作集」刊行委員会 2015～)

\*\*\*\*\*

●日本革命的共産主義者同盟革命的マルクス主義派(探究派) 北井信弘・糸色望 2019～

「探究派」公式ブログ 2020～

『コロナ危機の超克』(松代秀樹・椿原清孝・プラズマ出版 2020)

『コロナ危機の超克：黒田寛一の実践論と組織創造論をわがものに』(プラズマ出版 2020)

『自然破壊と人間』(野原拓・プラズマ出版 2021)

『脱炭素と『資本論』』(松代秀樹・藤川一久・プラズマ出版 2021)

『バイト学生と下層労働者の『資本論』』(野原拓・プラズマ出版 2021)

『松崎明と黒田寛一』(松代秀樹・プラズマ出版(2022)

『ナショナリズムの超克』(松代秀樹・桑名正雄・プラズマ出版 2023)

『国際主義の貫徹』(松代秀樹・春木真・プラズマ出版 2023)

『革マル派の死滅』(松代秀樹・プラズマ出版 2024)

『労働者階級の胎動』(プラズマ現代行書 7)(松代秀樹・真弓海斗・プラズマ出版 2024)

『世界を変革しよう 若い仲間たちへ』(松代秀樹・プラズマ出版 2025)